

プレスリリース

平成 30 年 7 月 18 日  
一般社団法人 日本船舶電装協会

## LED式照明器具の船舶への利用拡大に関する調査研究委員会を開催

当協会は 7 月 11 日に「LED式照明器具の船舶への利用拡大に関する調査研究委員会」の第1回委員会を開催しました。

LEDは近年寿命が長く消費電力が少ない等の利点から航海灯や船内照明器具、集魚灯等に多く使用されてきており、今後益々その利用が拡大する見込みです。

一方でLED式の照明装置はノイズが発生するなどの問題点があることも判っており、航海計器や無線機器の使用という面からは施工上留意する必要があります。

この委員会では、ノイズの発生や不具合事例の収集、施工工事を行う上で留意すべき点等をはじめLED照明器具に特徴的な事項について技術的に検討し、LEDの採用拡大という現状に即した電装工事について検討するものです。

委員会はメーカーや電装事業者など会員会社を中心に検査機関等の代表を含む 12 名で構成され検討を行うものです。

初回の会合となった当日は、委員長に関戸 常道氏(元電装協会技術部長)を選出し、全体計画を決定しました。

連絡先 (一社)日本船舶電装協会 03-3504-0858 松坂